

せがわ薬局 健康新聞 Ver.18



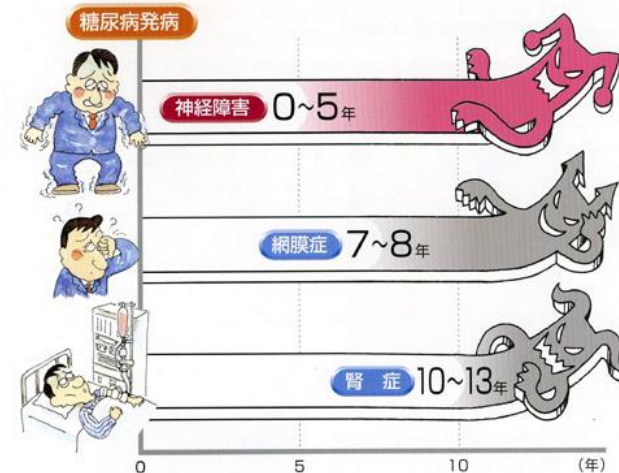
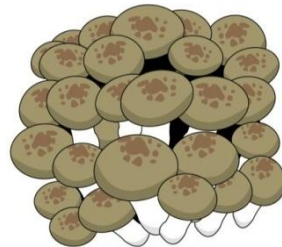
糖尿病は何か怖いか・・・。それは**合併症**なのです。
今回は糖尿病の合併症について勉強してみましょう。

糖尿病は、自覚症状がなくても、見えないところで合併症が進行していきます。
糖尿病と診断された時には既に合併症が進んでしまっている。

身体の不調があって病院を受診したら糖尿病の合併症だった。そんな話をよく聞きます。
合併症が出てくると、日常生活に支障が表れているということが少なくありません。

3大合併症

- ・し 神経障害（神経）
- ・め 網膜症（眼）
- ・じ 腎症（腎臓）



神経障害

糖尿病の期間が長かったり、血糖コントロールが不良だと、神経が障害されます。

3大合併症のなかでも最初に自覚症状としてあらわれることが多いです。

神経には運動神経・感覚神経・自律神経がありますが、自覚しやすいのは感覚神経と自律神経です。



★感覚神経の障害：

両手足先のしびれ、鈍い感じ、チクチクした感じなどが現れます。

ひどくなると痛みを伴う場合もあります

★自律神経の障害：

便秘や**下痢**を繰り返したり、排尿障害が起きます。また、ひどい**立ちくらみ**をおこしたりします。

網膜症

糖尿病では眼の奥にある色を感じる部分である網膜が主に傷害されます。ここが大きく損傷すると失明の原因になります。

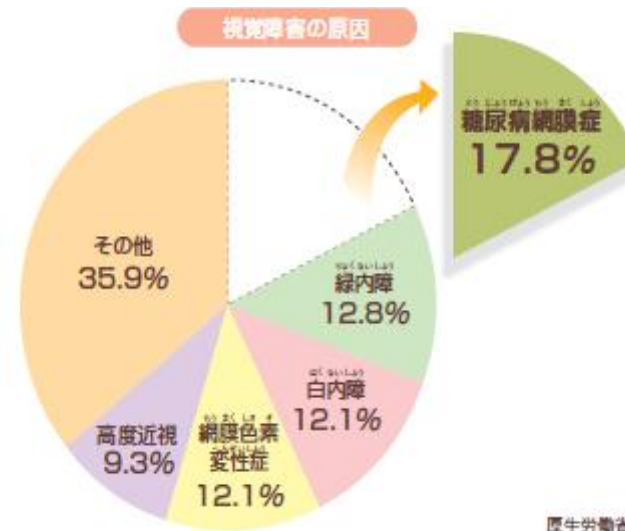
現在、

日本人で**失明**を含む視覚障害原因第1位は**糖尿病網膜症**です。年間3000人以上の方が糖尿病で視覚障害認定を受けています。糖尿病網膜症の初期には自覚症状はありません。

しかし、**放っておくとある日 突然、弱視・失明**となる可能性があります。

早期であれば、光凝固療法(レーザー治療)という方法でくいとめることができますが、進行してしまってからでは視力の回復は難しくなります。

自覚症状がなくても**定期的に検査を受け**早期発見、治療することが最も大切です！！



腎症

腎臓は腰のあたりに2つある臓器で、体の老廃物を尿中に出し、必要なもの(蛋白、糖など)を保つ大切な役割をしています。糖尿病ではここが障害されます。

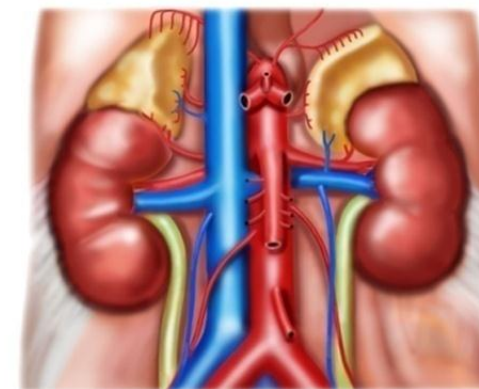
初期には症状はありません。尿中に小さな蛋白(アルブミン)が漏れ出します。

尿検査で**タンパクが出ている**と言われる状態です。

次第に大きな蛋白も漏れるようになり、ひどくなるとむくみなどが出現します。更に悪化すると、老廃物を尿中に出す機能も低下し、尿を作れなくなります。

こうなると、人工的に老廃物を除去する**「透析治療」**が必要になります。

透析治療は一般的には週に3回、約4時間かけて機械をつけて老廃物を除去する大変な治療です。



文責: 瀬川 美樹

有限会社 **せがわ薬局**

石川県七尾市鍛冶町50番地

TEL 53-0810 FAX 53-3557

<http://www.segawa-pharmacy.com/>